みなさんこんにちは。鐘華会東京支部長の中村です。平成３１年１月１日に鈴木前支部長の後を受け新支部長に就任しまして、この５月に令和の時代を迎え、早くも平成と令和の二代にわたる支部長となりました。

今回の支部例会には、来賓として鐘華会からは原会長、会社からは亀高取締役専務執行役員、塗取締役常務執行役員、更には人事部の藤田グループリーダー、村上チームリーダー、そして組合からは折茂東京支部長にお越し頂きました。厚く御礼申し上げます。

また支部例会の開催に際しまして、会社からは経費面のみならず人事部の方々に多大なご支援を頂きました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

さて、鐘華会の活動はこれまでの会長、支部長さらには数多くの幹事の方々のご尽力、そして多くの会員の積極的な参加により活発な活動が続けられております。

しかしながら近年、雇用延長や高齢者人材の活用により６５才まで働くことが当たり前となり、中には６５才を過ぎてもフルタイムで働く人も増加しています。結果として鐘華会の活動への参加や、中には加入をも見合わせる動きも顕在化しています。

そういった現状を踏まえ、１月の鐘華会役員会で議論を重ね、まず鐘華会規定を一部改訂しました。これまで、６０才の定年時に加入はしたものの、引き続き働いているため、会費は納めずそのまま休会となっている方が数多くおられました。そして、これまでの規定では３年間会費を納めないと強制退会になっておりました。今回この強制退会の規定を削除しました。

退会と休会では何が違うかと言いますと、休会中は退会者同様、支部例会や同好会に参加出来ませんが、例え休会中でも亡くなると休会者には香資料が出ます。退会者には勿論出ません。また休会中は会費支払を再開すればいつでも復帰出来ます。

現在明らかに仕事を継続していて休会中の方々には、今の仕事を終えられた時に復帰して頂くよう、きめ細かくお声かけしていきたいと思っています。

なお、お手元の資料で東京支部の会員数が増加しておりますが、これまで休会中の方は会員数には入れておりませんでしたが、今年から休会中の方も会員数に加えたことによるものです。

さて、先月５月１６日の新聞でも報じられましたように高年齢者雇用安定法の改正案が発表されましたが、７０才まで働くのも当たり前の時代が近づいています。このことは決して悪い話ではありませんが、鐘華会の高齢化が更に進むことは間違いないでしょう。時代に即した改革が必要だと感じています。

幸い鐘華会の方々はみなさん健康長寿なので会はこれかれも繁栄していくと思いますが、もはや７５歳までの会員の方々は鐘華会ではジュニア世代であることをまず認識しておいて下さい。

人と人との繋がりが健康長寿をもたらすことはもはや有名な話です。昨年原会長が挨拶の中で繋がりがもたらす愛情ホルモン・オキシトシンの話をされましたが、この繋がりに大きな影響を与える遺伝子もあります。

人には２３対、合計４６本の染色体がありますが、１９番目の染色体にあるＣＹＰ２Ａ６が繋がり遺伝子であり、これを持つと他人に対しオープンな態度をとるそうです。恐らく鐘華のみなさんはこの遺伝子をしっかりお持ちだと拝察しています。

私の場合、もう一つ別の遺伝子がありまして、１１番目の染色体にあるＤＲＤ２という遺伝子です。この遺伝子はお酒と関係しており、飲み友達が増える遺伝子で、飲み過ぎて早死にしかねない遺伝子です。注意したいと思います。

いずれにしましてもこの鐘華を通じた人との繋がりを大事にしてこれからも皆さんと共に長寿時代を大いに楽しみたいと思います。皆さん、元気に頑張りましょう。